中国科学院作成 珠穆朗瑪峰地区図

日高元会長の遺稿を読んで

大木 操

岡沢祐吉

一原有徳

北海道の山

『山日記』のすすめ

先人の影

ブラヴァンド氏の山案内人手帳(8)

古い宿帖

望月達夫



日本山岳会

録

自 四〇一号~至四五〇号

説 • 研究 . 随 想

論

ブラヴァンド氏の山案内人手帳(3) 北アルプスで会った人々 ブラヴァンド氏の山案内人手帳(2) ヴァンド氏の山案内人手帳(1)岡沢祐吉 <初めて公開される貴重な資料>ブラ 一冊の本―最近の読書から―島田 大木 岡沢祐吉 操 巽 玄 四〇四 四〇三 四〇二 四〇 徳本峠と徳本上人

ブラヴァンド氏の山案内人手帳(5) ウェストンさんの手紙 厳冬期霞沢岳三本槍登攀 ブラヴァンド氏の山案内人手帳(4) 成瀬岩雄 中村徳郎 岡沢祐吉 四〇六 四〇六 四〇五 往時片々

熊をおそれて

五十五年ぶりの徳本峠越え

三田幸夫

岡沢祐吉

四四四五四

ブラヴァンド氏の山案内人手帳の ブラヴァンド氏の山案内人手帳(6) 岡沢祐吉 岡沢祐吉 四四八九九 四〇七 夏富士でおきた落石災害 京丸牡丹考(下) 京丸牡丹考(上)

岡沢祐吉

四〇六

四四二二二二 四四四二一九二一九 尾瀬十句 ヴエッター 五月の句 赤岳十句 藤島さんの本・ほか

剣岳の「錫杖と剣」 ホルンの秩父宮雍仁親王殿 についての一考察 岡沢祐吉

高所登山と順応―カンチェ 想うこと二題 会長に指名されて ンジュンガで 麻生武治 津村はるの 四三六四三六 四三四 四三四

山スキーについて(私の体験から)(下)

登坂信雄

四

母として の体験― 山スキーについて

(私の体験から)(上)

登坂信雄

四 四

六 四

樋口敬二 松丸秀夫

> 『日本中央大山系横断記』について . М ・Cのヴェテランの歌島田 巽 四 四 七

山を描くアルピニストたち わが山へのふれあい 自己管理技術)」を読んで 前穂高岳東壁をめぐって 村井葵著「高峰への挑戦(高所における 登山靴のビブラムの型のこと井手賁夫 白峰山について チョモランマのテレビは期待に反した 「山」の語源を探る 今井田研二郎 宮下啓三 中島道郎 四 藤山愛一郎四二二 山本朋三郎四 坂井久光 四 四 四 四 =九九九九八

ダウラギリ主峰 老人バーカンスを語る オデルさんの話 登頂十年目の思い出 水野祥太郎四二六麻生武治 四二五田口二郎 四二五 広瀬 潔 田口二郎 四三三 四三三

式 正英 四二八 小野 幸 四三〇山本朋三郎四二八 四三〇

太田徳風

四二六

小林 小林碧郎 小林碧郎 四三三 四三二 四三

佐々保雄 平柳一郎 四三三 ٢

写真集 白馬大雪渓より唐松岳へ 遠雪崩 年を迎えて 或る遭難―五十年目 登れぬ登山者の哀感 ヨーロッパにおける秩父宮雍仁親王殿下 彼我の違い 播隆伝の問題点と新資料 ネパール・ヒマラヤの旅 知床余情 日本山岳会の英文表記 安曇平、三郷村の播隆 山崎春雄さんの蔵書 常念坊の宿帖 |の回想| 生誕二〇〇 -折井健 秋山幹夫 藤野澤話 田口二郎 渡辺立男 小林俊樹 秋山幹夫 山崎安治 小野 幸 岡沢祐吉 小林碧郎 小林碧郎 小林碧郎 小林碧郎 小林碧郎 四四五~四 四四四四四四四二二二二 四 四四

山崎安治

海 外 通 信

オーストリアアルペン・クラブ百年祭 スイス便り マウント・ホイットニーから オーストリア山岳クラブ百年記念祭 UIAA総会開催 国際山岳映画祭 ミテとスイス 花の旅便り 富田健一 福田宏年 柴田初子四○□ 四 =

剣沢より黒部 古いピッケルのことなど 五十年ぶりに訪れたカムイエクウチカ 平柳一郎 小林碧郎 四四三一八 四三八 四三七 スエーデン山岳会のこと中国開放の山 ボグダ 泰山と禹歩 藤島 玄 四がヌーン・キナバルへ登る 小倉 厚 四ウインパーの墓・クローの墓 富田健一四ウインパーの墓・の日の墓 富田健一四に大きない。 九七八年度UIAA(国際山岳連盟)

ロッキー『花と氷河』の旅

明大エベレスト登山隊からの便り 会報が号に載った、当時のマナスル登山 ディーレンファース氏のメッセージ ダージリンの一夜

ルリヒコッファ氏からの手紙

前田

四三〇 四二九

岡沢祐吉

宮下啓三訳

四

九

沖 允人 四二早乙女緩次四

二二一一一一一 五五九四三三三

坂倉登喜子四

坂倉登喜子四

原稿への招待~「山」四五○号の機に~ 小林俊樹 大森久雄 四五〇

> わたし達の日韓交流登山 ベレストBCにて)

会員番号八八四八番をもらって(明大エ 隊三田幸夫隊長からのマナスル通信の一

田中淳一

四三四三四

金山淳二

白頭山の近況 マッターホルン連続二回登頂 脇坂順一四三八 メスナーに会いに マウント・ウイルヘルム登頂記 早乙女緩次四三七 岡沢祐吉 脇坂順一 四三五五五

明治生れ隊のヒマラヤ・トレツキング アルタイ山麓の冬 K2峰西面からの登頂 一九八一・不運のブリンデルワルト 早乙女緩次四四一 松浦輝夫 富田健一 四三八 四 四 Ö

三本のエーデルワイス カモシカ同人ダウギリ1峰登山隊一九八二 ロブソンへの道で学んだこと塚本幸子 二回目のムスタン ニュージランド遊記 と塚本幸子 四四九 坂倉登喜子四四八 高橋 照 富田健一 百瀬一茂 四四六 四 四

玉 内 通 信

佐々木徳雄四四

加納一郎氏の著作集刊行について

チセヌプリから目国内岳へ ネパールに時計を 井手賁夫 堂木暁子

(1)

古はがき二通

田中栄蔵

深田記念公園と記念碑 モーズヘットのこと 雪のゲンコツ山 と中国登山協会 来日したアルパインクラブ ウェストン祭あとの徳本峠 山岳会あてテレビ寄贈のてんまつ 小さいこと、大切なこと 藤木九三の資料室新設 星尾峠・焼山峠・余地峠 者の側から― コンサイス日本山名辞典について―発行 尾崎喜八氏のレコードの詩碑(大森) り寄贈される― アイス・アックスの原型―周布光兼氏よ 剣岳標識塔建立 映画「穂高讃歌」のこと 徳本峠越えのウェストン祭 松本市(アルプス山岳館のこと(川口)四〇七胎内と頼母木の出合)(横田敬一)四〇七 花の徳本峠みち 入野谷便り 杉本 良氏からの便り 三ツ峠岩登り競技会を見て 甲州高尾山に登る 木暮翁生誕記念碑 奥秩父・金峰山小屋 東赤石山と四国回想 九山と俳句 播隆上人の槍ケ岳開山百五十周年を祝う 『小島烏水全集』文部大臣賞を受賞 『小島烏水全集』の刊行 喬加欽氏 行 折井健一 紹倉寛二郎四二 柿原謙一 鈴木耕治 浜田文二 名須川浩 折井健一 早乙女緩次四〇九 鈴木郭之 高田真哉 オデール氏 一六一五生四 坂戸勝己 近藤信行 山下久男 坂倉登喜子四〇六 吉阪岳子 山崎安治 折井健一 山崎安治 島田 島田 巽 四三三 四〇九 四〇六 四〇五 四〇四 四〇四 四〇! 四〇 四四〇〇 四三〇 四四 四四 四 四四四 二二一一〇〇九九 五四三 八五 空からの白馬岳 黒百合平の木魂祭 山頂の標石 山の見える町(渡辺宏之著)織内信彦 越中山座圖巻(越中山座同定グループ編) ギ・カンリー九七六、コンダスの女王 十点二十九冊の完成 三田さんとの山歩き SIVALAYA シエルピ・カンリ) 三冊の初登頂記(テラム・カンリ、シン 三つの記念出版(コーボルト―その五十年、 推薦のことば 刊行のことば 三角岩、中央線) 「コンサイス日本山名辞典」について 一高旅行部の足あと(縦の会編)

紹

介

00000000

わが登高行(三田幸夫著)

川崎精雄 片山全平

DAVID HEALD)

(BY PETER HABELER TRANSL.

般

义

覆刻 日本の山岳名著』全二

近藤信行

四〇|

三田幸夫

渡辺公平 四〇

西堀栄三郎四〇二

島田

横山厚夫

四〇三 四〇三

島田 巽 山本良三

四〇四

山崎安治

四〇五 四〇四

[崎安治

四

日の五

义

エスキー場 安曇野からの便り二つ・酒 鍬ノ峰(大町) 和久田弘一氏からの手紙 会員通信・松岡繁、 飯豊山の黒ユリ 尾瀬スキーツァーでのビバーク山口一孝四三四 五月連休の穂高岳(下) 愛鷹山不登拝記 五月連休の穂高岳(上) 富士山安全ルート決まる 答見愛子 の博物館・人 山梨県観光課 平柳一郎 折井健 麻生武治 高橋庄一 河野幾雄 四四二 四四四 四四〇 四三九 四三七 四三四 四三三 四三三 **松四三三** 四 Ξ

島田 早乙女緩次四四七 米川正利 豊島洋一 幸 巽 四四四七六 四五〇 四五〇 四 五〇

立山町史 白き山嶺 コンサイス日本山名辞典修訂版 上巻(立山町編) (県陵山岳会) 広沖 横山厚夫 允人 誠

続・文庫に入っている山の本 写真集『大地の詩』 岩瀬皓祐 四 した

二つの遺稿・追悼集 (河岸充穂著) 蒼い星(安川茂雄追悼文 大森久雄 兀 0

隊報告) 世界地図集成『カラコラム・ヒンズーク イランの山々と―イラン帝国(親善登山 四 0

シェ編』 登山者のための生態学(渡辺弘之著) 薬師義美 大森久雄 四 四

山山

北アルプス稜線を飛ぶ(大森弘一郎著) 島田 四

EVEREST-IMPOSSIBLE VICTORY わが遍歴の信州百名山 (清水栄一著) 岡沢祐吉 四 Ξ Ξ

うちなる山々(中野孝次著)大森久雄 登山史の発掘(山崎安治著)織内信彦 アルプスに光みなぎる時(近藤等著) 岡沢祐吉 四四 四四四 六五五五 五四四

by W.R. Neate Mountaineering and its Literature 泉を聴く(西岡一雄著) ハントの二冊の本 逍遥雑記 (楠目高明著) 島田 阿部恒夫 片山全平 四 四四 六

北アルプス(日本山岳写真集団) 岡沢祐吉 匹

六

アーヴインの日記(ハーバード・カー著) 越後の山旅・下巻(藤島玄著)山崎安治四 高峰への挑戦(村井葵著) かもしか仙人 井雄二著) スカートをはいたクライマーたち(今 (早乙女緩次著) 入沢郁夫四 松家 河村栄二 今村正二 晋 四 四 八八 七 六 七

三代の山(堀勝彦ほか短北山の峠(金久昌業著) Himalayan Handbook (堀勝彦ほか編) (by 山崎安治 島田 J. Sircar 巽 四 四 九九九

山 続

四〇八 四〇六五 クライミングの基礎知識(長谷川良典) 関西周辺の谷(中庄谷直著)西尾寿一 山スキーの技術(青柳裕樹著)松丸秀夫四二三著) 雁部貞夫 四二二 ヒンズー・ クシュ真っただ中(広島三朗 雁部貞夫 允人

四三三 四二 四二

パタゴニア氷河紀行(NHK取材班) 白き魔神の山(三上耕一編)高橋善数 須田義信著) 村井 葵 四 四 Ξ Ξ

(高橋照著) 阪上秀太郎 四三三

秘境ムスタン潜入記 菜譜(片岡博著) 斎藤 川崎精雄 桂 匹 四 四四

幾つかの山 南会津郡東部の山(郡山山岳会編) 小島烏水全集の刊行 へ―わが登高記― (横山厚夫著) (吉沢一郎著) 柿原謙一 望月達夫 大森久雄 四三五四五四 四 三五

折々の山 シルクロード関係の書籍から 泉久恵 鳥瞰図譜―日本アルプス(五百沢智也著) (望月達夫著) 大森久雄 望月達夫 大森弘一郎四 四二六五 四 二六 곳

ギネス登山事典(エドワードパイアツ Planting the Five-Star Felag on Mt. 故東良三氏旧蔵書の追記 Tomur(中国登山隊) 子連れ山旅日記(石川貞昭著)山村正光四 安江安宣 島田 水野 勉 巽 四二七 四 四 二八 二七 二六

足で歩いた百観音(神谷恭平著) 続々・文庫に入っている山の本 ーソン著) 高い山々と冷たい海 (J・R・L・アンダ 山崎安治 田口二郎 四二八 四 二八

Outburst Originated from Glacierdammed with Special Reference to the Glacial Study of the Hielo Palagónico Norte Geographical Contribution to Periglacial Lago Arco, Chiliean Patagonia by 岩瀬皓祐 四二九

きのうの山きようの山(上田哲農著) I 田哲郎 静かなる山(川崎精雄 中西章 横山厚夫共者 望月達夫 松家 岡沢祐吉 四 匹 ΞÖ 二九

> (2)

誰でも行ける楽しいヒマラヤ(佐藤テル 札幌から見える山(朝比奈英三、鮫島惇 山ひとすじ―中村謙 遺稿と追悼― ランタン・リルン(大阪市立大学山岳会) of K2 by RICK RIDGEWAY Kangchenjunga 8,598 m(山学同志会刊) The Last Step The American Ascent 日本登山大系(全十巻)槍ケ岳・穂高岳 峭峻の白き屋根(群馬県ヒマラヤ登山隊 中国の高峰(中国登山協会監修) アンナプルナ1・8091 未知なる頂 岩と人―日本岩壁登攀史― アルプスを描いた画家たち(近藤等著) 岳連盟編) 「わが登高行(三田幸夫著)」完成す (一ヒマラヤ17) (スビダニ (吉沢一郎 (伊藤弥十郎著) 川崎精雄四三八 Щ (日本山岳会珠 (著者代表向坊 河西俊郎 岡村 石坂昭二郎 いい(静岡県山 (斎藤一男著) 高沢光雄 堀内章雄 四三八 式 正英 四三八 大森久雄 小野有五 四三八 望月達夫 金坂一郎 斎藤かつら四三四 今村正二 山崎安治 山崎安治 宮下啓三 四三二 雁部貞夫 田口二郎 岩瀬皓祐 山崎安治 四三九 四三三 四三四 四三四 四三三 四三六 四三五 四三五 四三五 四三 四三 四三 四三四 四三 四 Ξ 神話と伝説の旅郎ほか) ラブ発行 山岳講演集 垂直の上と下(小森康行著)川崎精雄 四四 カモシカ物語(千葉彬司著)大森久雄 四四 望月達夫 四四 ら・もんたあにゆ(日本山岳写真協会編) 山なみ帳(小谷隆一著) 山と友(東大山の会編) 写真集 究会 雪嶺秘話―伊藤孝一の生涯― 治氏の『ふみあと』― 日本海の見える山(増水迪男著) Mountains Wayo to Wilderness New Zealand National Parks Land of 雪崩の世界から(新田隆三著)金坂一郎四四 西上州の岩山薮山(二木久夫著) 空撮 北アルプス(大森弘一郎・パノラ 山の紋章 山岳スキーコースガイド 日本の山―山渓カラー名鑑― マ作品集) 新岳人講座 一九七八年山嶺登高会カラコルム遠征 飯豊連峰―山と花― 雪形(田淵行男著) 全九巻(東京新聞出版局) (川喜田二郎・加藤千代著) (小林政志著)

ハチンダール・キツシュ七一六三m 横山厚夫 (山と渓谷 金坂一郎 四四〇 四四〇

佳境に入った鳥水全集 ネパール曼陀羅(高橋照著)雁部貞夫 登山・それは愛(塚本珪一著)阿部恒夫 私の山、谷川岳(杉本光作著)雨宮節

ウムガルトナーほか著西堀栄三郎、宮下 図説百科 山岳の世界(アルベルト・バ

東京大学公開講座(32) アツシュの杖

遥かなりエヴェレスト―マロリー追想― 円熟期の人生と山の個人記録―三上正 山崎安治 宮下啓三 四四三 四四二

望月達夫

四四二 四四二

佐藤テル

赤沼八隅 四四五 大森久雄 織内信彦 (瓜生卓造著) 四四五 四四五

シシャパンマー九八一年・春(女子登攀ク 自然・登山・探検(西堀栄三 滝川 清 四四六 黒石 恒 山崎安治 四四六 四四五

Climbing in New Zealand Land of Mountains Tramping and Ways to the Wilderness 佐藤テル 宮下啓三 四四六 四四七

登山医学第一巻第一号

(日本登山医学研

四四〇

万葉の山を行く―大和編― 富嶽歴覧(伏見功著) (新井清著) 川崎精雄 塚本珪一

EVEREST by Walt Unsworth 安曇野挽歌(田渕行男著) 蜂谷 島田 巽 緑 四四九 四四四八八

山嶽寮(越田和男編) 友情 子る 日韓交流登山 上高地物語―その歴史と自然―(横山篤美著) 一九八一年十月 山崎安治 蒲生明登 四四四九九 四四九

山崎安治 三辺夏雄

(小荒井実 小林政志

清 誠

アマとプロの差―二つの山岳写真集― 秘湯一〇〇選(美坂哲男著)岡沢祐吉 宮下啓三 四五〇 四五〇

海 外訳

巽 四四

四四四 四四四 四四四 四四 四四

ヴアリス・アルプス―特選10コース― カラコルム探検史 上・下(ヘディン著 メスナー著横川文雄訳) ヒマラヤ紀行(J·D・フーカー著薬 SIVALAYA余聞 冒険への出発―五大陸の山々で―(R・ 一著 横川文雄訳) エヴェレスト―極点への遠征―(メスナ ト著 福田宏年訳) ヒマラヤ―第三の極地 未踏のパミール(クルインコ著 (ミシュル・ウオシェ 著近藤等訳) (デイーレンフル 村井 水野 勉 望月達夫 四一五 山崎安治 望月達夫 (島田) 葵 四二五 四〇六 四 四〇七 四〇一 四三〇 四

ィンパー著H・E・G・テインダル編新 世界登攀史―偉大な登頂とその試み― (エリック・ニュービイ著近藤信行訳) アルプス登攀記(エドワード・ウ 岡沢祐吉 四三六

スイスの山々―SAC山案内人の体験談― (オレル・フユスリ社編岡沢祐吉訳) 四四四

四六

山岳団体会報紹介

飯豊第9号―ソビエトの山々・ほか―

昭和55年度事業計画

日本山岳会昭和54年度事業報告

四二〇

員総

会議・委員会

会 務 報 告

新副会長に渡辺兵力氏 54年度通常総会のお知らせ 昭和五十四年度 日本山岳会総会 小倉 四〇五、 厚 四〇六 四〇八

堀会長、チョモランマ登山の成功を報告 昭和54年度予算書(案) 昭和54年度事業計画(案) 財産目録(54年3月31日現在) 昭和53年度収支決算書 日本山岳会昭和53年度事業報告 昭和五十五年度日本山岳会通常総会 四〇八八 四四八八

新潟大学山の会、 新潟大学山岳部

四四四八七

全国一斉登山(国鉄山岳連盟編) 北大山岳部五十周年記念誌(北大山の 望月達夫 越田和男 四〇七 四〇五

村民俗の会編) あしなか 東九州支部創立二十周年記念誌(東九州 Golden jubilee 1928-78 Himalayan Journal Vol. XXXV 1976-77-78 第一輯~第百輯(山 望月達夫 折井健一 清 四二四 四四二 四一八 四〇七

山と谷へ―中京山岳会五十年史― 安藤忠夫 四四七

四〇八

四 高 四 四〇九

0

一一一一一 九八七三一

0

昭和五十七年度通常総会開催について 昭和56年度予算書(案) 昭和56年度収支決算書 財産目録(昭和57年3月31日現在) 日本山岳会昭和56年度事業報告 事に小倉茂暉氏 昭和五十七年度日本山岳会通常総会 財産目録(56年3月31日現在) 昭和55年度収支決算書 昭和56年度事業計画(案) 日本山岳会昭和55年度事業報告 会長に佐々保雄氏就任 昭和五十六年度日本山岳会通常総会 昭和54年度収支決算書 財産目録(55年3月31日現在) 四四三、四四五~四四八、 ~四三四、四三七、四三八、四四〇、 は加藤泰安、佐藤テル両氏へ 昭和五十六年度年次晚餐会 昭和五十六年度年次晚餐会 昭和55年度年次晚餐会 新名誉会員紹介 れるチョモランマ登山計画 昭和54年度年次晩餐会開かる―期待さ 年次晩餐会12月1日 (お知らせ) 新名誉会員紹介 五氏に名誉会員章 昭和53年度年次晩餐会―成瀬岩雄氏ら 年次晚餐会 委員会会議―各委員会の運営方針(案)― 委員会会議関係 理事会・評議員会 四〇一~四二二、 年次晩餐会での会長挨拶 新名誉会員紹介 新名誉会員紹介 委員会会議開催さる―役員、 (弥) 両氏名誉会員に 交野 四五〇 (お知らせ)四 名誉会員章 松家晋 委員七十八 小倉 厚 五(武)、 望月達夫 小倉 岡沢祐吉 小倉 厚 西村政晃 (望月) 坂本正智 (望月) 岡沢祐吉四三九 厚 堀田 新監 四 四四三三二 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四二四 四四三三 四〇三 四三六 四三九 四三九 远 四 四 四 匹 四 三七 三七 五五五 七 お知らせ 第17回『この一本展』より(1)~(3四一六~四第8回山岳史懇談会(お知らせ)四第11回山岳図書を語る夕べ(お知らせ)四第十二回図書交換会 堂本暁子 四第十二回図書交換会 第11回図書交換会 第七回山岳史懇談会『女性の登山を語る』 第十六回「この一本展」より 山岳図書を語るタベーフランスの山の本 閲覧室に飛驒高山の調度品 第12回図書交換会 山岳図書を語る夕(お知らせ) 町田立穂氏寄贈図書 図書委員会(フィルム委) 会員懇談会(お知らせ) 第一回支部間懇談会—長野県、諏訪湖畔 会員懇談会―総務財務委員会一年間の歩み― お知らせ 山岳図書を語る夕べと山岳史懇談会の 第十八回『この一本展』より(1)~(2)四 図書交換会に御出品下さい 図書交換会について(お知らせ) 山岳図書を語る夕 東良三氏の旧蔵本 第12回図書交換会(お知らせ) 第十二回山岳図書を語る夕べ(講師 第九回山岳史懇談会(お知らせ) 第13回図書交換会 第十二回山岳図書を語る夕べ 近藤信行氏 図書委員会懇親会 第14回山岳図書交換会 「この一本展」のお願い 「この一本展」のお願い -近藤等氏を迎えて― 九 :本山岳会図書室ニュース ソー ルの『アルプスの旅』を入手 フオスコ・マライーニ 図書委員会主催の恒例の催し 烏水の方法 積翠寺温泉から帯那 織田沢美知子四一 坂本正智 関係 山崎安治 坂本正智 田村俊介 (大森) 四 講師 大森 Ę, 牧 二八~四 四四四 四 四 〇 〇 四〇四 四〇三 四五〇 四四四 四 四二九九九 四三四三四 四一八 四二 四二 四六 八五 五四 第九回山岳史懇談会から 部の動向し リカの山岳図書」の話 図書交換会出品図書の販売について 第十回山岳史懇談会(お知らせ)四三九、 図書交換会に本を御出品下さい きく大正時代の積雪期登山 開拓期の黒部渓谷映画会―別宮元会長の遺 街道へ―(付・辻村伊助一家罹災の憶 映写会期日変更のお知らせ(フィルム委員 図書交換会に図書をご出品下さ フィルム映写会のお知らせ(フィルム委員 第十回山岳史懇談会―昭和初期の早大山岳 山岳図書交換会について(お知らせ) 第十九回「この一本展」より⑴~⑷ 第十四回図書交換会 第三七四回小集会 第三七六小集会 もちつき大会 お知らせ 忘年会は12月14日 集会・青年・婦人懇関係 寄贈フィルムについて 図書交換会 辻村伊助旧宅跡を探る―湯河原から箱根旧 第三八二回現地小集会 第三七九回小集会 第三七九回小集会 山岳史懇談会 青年懇談会丹沢集会 第三七五回小集会 第三七三回小集会 「この一本展」の開催について四三八、 「この一本展」の開催日変更について スキー集会(第三七七回小集会) 『この一本展』のお知らせ .岳図書を語る集い―吉澤一郎氏の「アメ -古川源治氏よりの手紙―)滝川 清 御在所岳藤内壁 甲州高尾山山行 山の歌教室 御在所岳藤内壁 ノミの市結果報告 第3回山菜山 三田幸夫氏 松家 伊藤博夫 平井吉夫 平井吉夫 折井健 内藤俊夫 四四六、 四四二~四 晋 記く出 行 四四五 四五〇 四五〇 四四八 四四六 四四〇 四四七 四四六 四三九 四三八 四三七 四〇六 四五〇 四四 四 四〇六 四〇四 四〇三 四四〇一 四 四三 四 四 三四 <u>E</u> S S 第三九〇回現地小集会 山菜山行 四一 山菜山行(お知らせ) 四一 山菜山行(お知らせ) 四一 臨況だった79年ビールパーティ木村勝久四一 離岳登山(お知らせ) 四一 御岳登山(お知らせ) 第82回小集会 赤岩峠大ナゲシ付近と の山と谷を語る会 第三七九回小集会 青年懇談会「丹沢集会」 樽酒を囲んで(婦人懇) 現地小集会 現地小集会(三倉、 80年ビー る会 お知らせ 山菜山行報告(二岐温泉、 ビールパーティについて(お知らせ) ーション 第三八八回 第三八三回 第三回山菜山行に参加して 女性三名を迎えて― 遠来の客と過した二十二日間―インド人 キノコ狩り山行 ビールパーティについて 第一回日韓親善交歓会と交流登山報告 第七回オリエンテーション 第四〇六回現地小集会 80年忘年会(青年懇) 初冬の丹沢で山イモを掘る会(青年懇談 紅葉の北八ケ岳でのんびりする会 忘年会のお知らせ 慣例のビールパーティ キノコ狩り山 イノ・シカ・チョウの会 スキー現地集会(お知らせ) 忘年会の日時決定 -山菜山行―会津の山菜とお酒 ル・パーティ(お知らせ) イパーティ 紅葉の北八ケ岳でのんびりす スケッチ山行 小集会 第六回オリエン ルーム小集会 御在所岳藤内壁 大倉山 (婦人懇) 山菜山行 大白森、 お知らせ 折井健 原謙 北海道 寺島昭一 中世古隆司四〇九 三沢幸夫 西村政晃 宅間清子 (絹川) 松永康子 上野英世 (早川)) 山口節子四三六 (小倉) 日

四 四 四 二 二 二 五 四 四 四三 四三三 四二 四

四二六

四

三六

四三三

四三四三四

四三八 四三八 四三七 四三〇

四四四四三二 九九七

451-1983 • 1 • 20 (第三種郵便物認可) 付録 Ш 忘年会 秋のスケッチ山行 お知らせ 山菜山行のご案内 冬山合宿―北アルプス爺ケ岳― 集会委員会 日韓交流登山 指導·学生関係 行事案内(八方尾根スキー行) ビールパーティ(お知らせ・婦人懇) 雨飾山山菜山行 遠見尾根—五竜岳山行 猪肉と鹿肉の会(青懇) 第23回山スキー技術講習生募集 第24回山スキー技術講習会のお知らせ 第25回山スキー技術講習会のお知らせ 雪崩研究会日程変更のお知らせ 第24回登山技術講習会報告 学生部マラソン大会(お知らせ) 雪崩研究会開催日時変更 雪崩研究会の開催(お知らせ) ヤングアルピニストの集い(お知らせ) 第21回登山技術講習会(お知らせ) 第23回山スキー技術講習生募集 第21回技術講習会報告(富士山) お知らせ 第二十七回山岳スキー技術講習会 スキー登山技術講習会開催について 登山技術研修会 登山技術の原点を見直す 第26回山スキー技術講習生募集 海外における本会のチョモランマ遠征へ 海外連絡委員会 第26回山スキー技術講習生募集 雪崩講習会報告 岩登り講習会 -ザイルの結び方再考― 第二回キノコ観察山行 遭難救助訓練と岩登りの講習会 雨飾山縦走断念の記 (報告) 板倉健 高橋 前田文彦 富田由紀子四四 高本信子 鈴木正俊 岡島成行 石間信夫 砂田定夫 小原晴子 (駒宮) 小原晴子・四五〇四四六、四四七 聡 河 一四四三 四四三九九 四四四四五八六六 四四三 四四四二一 四 四一 四〇五 四〇三 四〇三 四〇| 四四五 四三九 四 |四〇 八 グリーンランドへ行くには 氷河からのエヴェレスト、 ネパールの秘境ムスタンの人と山 JACの賀状用写真を募集します 私の歩いたイタリアの山々(お知らせ) お詫び(日ソ交流登山について) ソ連山岳連盟との交流(青懇共催) 簡(上)(下) インド・ヒマラヤ遭難事故に関するイ んで(吉田宏) 海外委員会より一、遠征隊員募集の手紙 海外連絡委員会より シヤルマ氏歓迎会 海外山岳団体の住所変更のお知らせ 製配布について 共に、日山協が加盟 本会UIAA(国際山岳連盟) お願い 88年度グリーティングカード用 スライドとお話(お知らせ) ンド登山財団 ドイツ山岳情報(お知らせ) 海外委員会第四回例会 お話とスライドのお知らせ 写真の再公募 イタリア通信 (黒川恵)二、H・C・サリーン氏を囲 パミールキャンプ申込方法 海外委員会第五回例会 る山岳会の現状 「T・H・ソマヴェルの油絵―ロンブク 高所登山研究会のご案内 韓日合同高所医学セミナーに参加して 高所登山・医療委員会 九八〇年UIAA総会報告 「日本登山医学研究会」の発足にあた 九八三年度ソ連国際キャンプ開設の案内 回日本登山医学研究会 サリーン総裁よりの書 東アフリカにおけ 私の歩いたイタリ

四四九八九八 八 第二回日本登山医学研究会 第二回日本登山医学研究会学術集会 高所登山研究会 第二回日本登山医学研究会学術集会 シンポジウム 「高所登山における雪崩遭難」についての 隆 岡沢祐吉 四四九~四五〇 四四四四四十一一 四四〇

一九二四」複

の退会と

科学研究委員会

佐藤テル

丹部節雄四三一

佐藤テル

四三五 四三五

植村直巳氏と樋口敬二氏を迎えて 員会の発足にあたって-山登りに科学のこころを一 第三回講演会と鳥海山高山植物探索行 -科学研究委 中村純二 つお 四〇七 四〇七

早川瑠璃子四四四二四二

四〇四 三七

知らせ)

四〇八

私の山と学問と(今西錦司氏講演会) 第四回講演会 チョモランマ地域の水河 雪害実験研究所見学会案内 小野幹雄氏を迎えて―科学研究委員会 中村純二 四四二三三 四一〇

牧野文子

鳥海山高山植物探索行(報告)宮下啓三四雪害実験研究所見学会案内 四と気候(施雅風氏) 三枝礼子 四と気候(施雅風氏) チョモランマ周辺の氷河調査について 講演会と植物探索行(平ケ岳) 雪害実験研究所の見学報告 松丸秀夫 ンロロチョモランマ登山隊の学術調査 科学研究委員会報告臼燃焼工学と登山用コ 木曽御岳の噴火 四四四 四四 一一一 九八七 六四四四四

(お知ら

四四六

四四四四四四四四四四

平ケ岳高山植物探索行 山をめぐる宗教と伝承(第九回講演会) 山の意外な顔―北極氷河のプツシュモレ スキーの科学と思い出 裏磐梯スキー懇親会 出羽三山行(お知らせ) 第五回講演会 山岳と科学(西堀栄三郎 (報告) 中村純二四二九 西堀栄三郎四三 神谷光昭 中村純二 四三二 四三三 四三〇

鈴木郭之

四四四九九

四五〇

牧野文子

四四四

七 七

加藤大幸 四四

四四四七

月山の高山植物 低圧トレーニングの実際と応用 島岡清四三九 出羽三山の修験道 出羽三山の旅 高齢者の安全登山について(医療委共催) 大いに語ろう ヒマラヤの自然」 結城嘉美 宮家 準 小西奎二 小林太刀夫四 四四三七七 四三六 四〇

中島道郎

四三五

大森薫雄

四三七

比良地形探索山行の申込方法一部追加に比良地形探索山行(お知らせ) 比良探索山行と講演会 ポジウム(お知らせ)

四四四四四四四五四三

科学研究委員会第十三回講演会 ける危機(国際山岳会会長 Jack D. Ives 山岳にお

四千m体験 科学研究委員会報告「低圧室」を利用した 「低圧室」を利用した四千m体験 四四七 四八

第十四回講演会「日本の山と断層」 ラヤの自然シンポジウム」 科学研究委員会報告「大いに語ろう…ヒマ 名古屋大学環境医学研究所 森滋夫 小野有五 四四八 四五〇 四 四八

ルーム日誌 四〇一~四五〇

会員名簿訂正 会員異動 について(神崎忠男) 五~四四八 四〇 四〇二、 ~四四七、 四四一、 会員名簿の誤植訂正 四四九、 四四三、 四五〇 四 四

図書室便り

復活・新入会員 〇八~四一七、 三六~四四〇、四四二、二四、四二八~四三〇、 図書受入報告 一一~四一五、 四二〇~四三〇、 (表) 四三三、 四〇一~四〇六、 四四四~四四八 四三二~四 四

住所・住居表示変更(表) 四〇一~四五〇



その他事務局関係

昭和53年入会のみなさまへ お知らせ 図書室開設時間 日本山岳会事務取扱時間 ションのお知らせ 原稿をお寄せ下さい 会費を納めて下さい 「山」合本、製本いたします 「山」合本、製本いたします ーム基金応募者ご芳名(15 年次晚餐会12月2日 会員名簿配布 オリエンテー 四四〇〇 0 |~四〇七 ~四〇七 四〇四

山日記%年版のご案内 お知らせ お知らせ ループタイ 「山岳」覆刻版など 小倉 四二、 厚 四四四四四四四四四四三

会費を納入して下さい・事務局四二六~四二七 山日記%年版(46輯)の出刊ご案内 正月休み 12月28日~1月6日 小倉 厚 四二六 四二六

ペンダント頒価 原稿募集 毎月のお知らせと留守番電話

四二一~四二

] []

四三二

8月11日~16日

日本山岳会『会報』合本会員特別頒布に 事務局より Tシャツ申し込みについ 報告 通常会員総会は5月15日(金) Tシャツ 会員への実費配布について Tシャツ実費頒布について 夏期休室8月10日(月)~15日(土) いて四三〇 四三三 四二九

「山日記」28年版会費納入について ついて (47輯) の近刊予告 小倉 四三五~四三九 厚 四三七

日本山岳会マーク入り「トレーナ」の販 大町山岳博物館へ山岳関係資料を寄託 会費納入について 正月休み12月29日~1月6日 「山岳」第七十六年に対するご批判に答「山岳」第七十六年について. 土井高次四 四三九、四四三 四三九九 四 四

> 正 バックナンバーを譲って下さい (岡沢) (水野) 四 四三

57年度会費未納の方は至急お納め下さい 夏休み(事務室) 四四八、四四九、 四五〇 四四四四 四 五

ゲッチ山行、山岳研究所閉所式ほか) 行・支部懇談会・忘年会・会員懇談会・科学 行事案内(年次晩餐会・忘年山行・スキー山 お知らせ、 ルーム正月休み 委員会忘年会) 『山日記』、8年版(第48輯) ルーム行事案内 (, 四四九 四四八 四五〇

刊行のご案内 小倉 厚 四五〇

首 然 保 護

O

山のゴミ―蛾ケ岳で考えたこと― 委と環境庁合同会議— 冬・春山のゴミを持ち帰ろう―自然保護 第四回上高地集会 小倉 小倉 厚 厚 四〇 四〇五

島々谷川の道―建設と破壊の谷― 鳥海山ではじまる観光開発 斎藤重一 ユングフラウヨッホの水晶宮殿 小林 茂 四四四〇九八五

白川又林道建設の中止と大台ケ原マイカ 自然保護全国上高地集会開催(お知らせ)四一〇 大峰・大台現地視察と大杉谷山行 規制を求めて 小林俊樹 四一〇 四

忘年会を兼ねて清掃登山を実施 大正池の河川化と田代池の壊滅 小倉 富田健 厚 四 四 <u>—</u> 五 匹

中村純二

四

_ 三

日高中央横断道路計画とその問題点 鳥海山の自然を守ろう 渡辺正臣 四

自然保護委員会 お知らせ 尾瀬に再び自然破壊の危機 第四回全国自然保護上高地 第五回上高地集会 (関塚)

再び日高中央横断道路計画と問題点 ゆがめられた自然保護運動 雪の八子ガ峰で忘年会 近藤 一原有徳 小倉 緑厚 四二八 Ξ 三五

> 自然保護懇親山行 国際山岳会(IMS)創立―山を守る運 環境週間北海道大会に参加して渡辺正臣四三四 青木ケ原の地底を探 国見利夫

渡辺正臣

山と鳥 第六回上高地集会 自然保護講演会と上高地自然保護集会 動を登山家と科学者の手で― ヨーロッパの自然保護 井手賁夫 柳沢紀夫 関塚貞亨 田中薫 四四三九 四三八

じ会(静岡支部四十周年記念) JAC自然保護全国集会・第二十五回もみ 懇親探鳥会 お知らせ四四六 四四六

〇上高地山岳研究所

上高地山研 上高地山研だより 山研だより 上高地山研へどうぞ 上高地山研だより 五月三日にオープン 小倉菓子 (高本)四一五、 (高本) (高本) (高本) 四〇一、 四二六 四四二八二八 四〇三

上高地山研へ!! 上高地山研は5月2日(土) 上高地「山研」運営の反省 上高地山研開所 上高地山研礼賛 シーズン到来!!上高地山研の利用を 上高地山研、開所式 山研利用料の訂正 から 山崎金次郎四三六 (鈴木) (関塚) (関塚) 四三四 四三〇 四四三三三二三二 四 四四四 四三 三二二〇九八

のつどい

大平総理主催

スポーツ関係者との懇親

催 U 物

今西錦司先生日本一千山登頂祝賀会 今西錦司・その人と魅力―岩坪五郎

四〇二

オデル氏来日記念

映画と講演の夕

四三四 四三五 四三五 四三二 だべる 第17回木暮理太郎翁碑前懇親会 11月三水会 ヨーデルとワインの夕べ 第21回紅葉会 JACノミの市 二十周年記念の会二つ 三水会上高地集会 あんこうと薬湯で 水野公男 宇津力雄 成瀬岩雄 菅野弘章 関塚貞亨 四〇四 四〇三

日本山岳会三水会について 第17回木暮理太郎翁碑前懇親会 三水会54年度行事予定 企笠山 第45回三水会現地集会 第三十三回ウェストン祭と記念山行 不動ノ湯、比 岩堀瑞子 四四四四四〇〇八七七七六六 四〇六

第十七回木暮翁碑前懇親会記 斑尾高原山菜行道草の記 剣岳発見の錫杖を囲む夕べ ペルー・アンデスとスイス・アルプスへ ウェストン祭 第十七回木暮翁碑前祭 記念感話 二題 (お知らせ) 松家 宇津力雄 山村正光 字津力雄 四 晋 四一〇七 四 0

夕べ 三水会、第二回 三水会だより、大正末期の剣岳周辺 笠原勇氏) 三水会例会(講演会)より わが登行(三田幸夫氏) 山と健康(辰沼広吉氏) ヨーデルとワインの (沼倉) (沼倉) 分 四 四四 五五 六

三水会有志で―茅ヶ岳へ 第18回木暮理太郎翁碑前懇親会開催 三水会便り・十二月現地集会(大野盛彦) 三水会 竹寺集会 新年初山行を大霧山で(高田真哉) 高田真哉 (勝田) 四四四四 四 九九八七 六

第34回ウェストン祭 お知らせ 三水会・鍋割山現地集会 三水会行事 チョモランマ登山の映画 久保孝 郎四二二 四四二九 四三

第23回もみじ会案内 第十八回木暮碑前懇親会報告 中国登山友好代表団歓迎パーティ (松家) 山村正光四二三 四四 五四

ヒマラヤの王国―ネパール展(名古屋)四三〇 第19回木暮理太郎翁碑前懇親会開催につ 哉) (3)高尾山忘年家族ハイク(小林由美 る(荒野康子)⑵飛竜山に登る(高田真 三水会だより(1)只見川に紅葉と味覚を探 土曜会へのお誘い 片桐盛之助永年会員を囲む(三水会) 三水会だより⑴比企の峠をのんびり歩く 四三〇 四二八七 四三〇

支 部 情 報

北海道支部だより 福島支部創立三十周年記念現地小集会 四〇一、 折井健一 四〇四 四〇! 四〇八

第22回紅葉会案内 東海支部総会報告 カウンナイ遡行―トムラウシ岳 北海道支部 東九州支部だより 総会報告 丸山昭一 静岡支部 西 孝子 四〇八 四一〇九 四〇八

山里寿男個展開催

三水会便り 越後の山と地酒の旅 夫)(3昭和56年度三水会行事

斎藤健治

四三五四五五四

四三

(高田真哉) ②竹寺現地集会(望月達

小田急沿線会員の親睦山行報告

支部長会議と懇親会(佐渡) 折井健一 井手賁夫 四四四四 四四 三 四四

関西支部、図書に関する小史 村井葵 杉本秋之介四一五 五 八

望月達夫 山口 亮 五五

北海道支部だより 東九州支部二十周年記念山行のご案内 熊本支部新年晚餐会 北海道支部だより 九八 一七六

 \widehat{H} 治紀

(北海道支 北海道支部総会報告

支部長会議と現地小集会(関西支部) 支部長会議及び現地小集会(関西支部) 囲み歓談会の夕べ・支部山行大千軒岳登 三つの行事報告・お月見会・西堀会長を 西堀会長を囲んで話を聞く集い(越後支 (北海道支部) (斎藤) 四三五五五 札幌に元会長三田幸夫氏を迎えて 第三十六回ウェストン祭 静岡支部五十七年度総会報告 熊本支部春季総会報告 ニペソツ山

岡沢祐吉

四四五

四四五

浜口厳根氏 額田敏氏亡くなる 舟田三郎氏亡くなる 大野俊夫評議員

(北海道

永年会員 若林祐治郎氏

望月達夫

四二五

(岡沢)

望月達夫

初見一雄

『山岳』追悼欄について

新雪の狢が森山

(越後支

東北各県支部会員親睦会と親睦山行

(秋田

兀 四四四

四

竹中昇君を悼む

竹中昇君の遺稿

北海道支部

支部長会議・現地小集会報告(関西支部) 部 杉本秋之介四二七 立川重衛 四

二七

ケ岳)

蝦夷お月見会

北海道支部 清

四四四九九

山本朋三郎四五〇

第二十九回紅葉会

第35回ウェストン祭 国際親善隊派遣報告(上)・(下)四二九、 東海支部二十周年記念 支部だより 信濃支部 北海道支部 日本=ネパール 四二七 四三 四三〇

第二十四回紅葉会 聖、 支部(お知らせ) 支部設立十周年記念御岳登山案内 北海道支部総会報告 熊本支部総会報告 静岡支部総会報告 第三十五回ウェストン祭(信濃支部) 赤石の眺望 岐阜 四三四 四三四 四三三 四三三 四三三

海道支部 日高山脈 愛知県三河山地現地集会の案内 東海支部 カムイエクウチカウシ山 静岡支部 犯 四三六 四三六 四 三五

玄山会 紅葉会のワッペン(第二十三回紅葉会) 支部長会議 静岡支部二土会紹介 岐阜支部設立五十周年記念 蝦夷お月見会 秋季例会報告 北海道支部 御岳山登山記 江馬 近藤信行 越後支部 諭 四四四三九八八 四四〇 四三七 四三九九

第三十六回ウェストン祭ご案内(信濃支 支部だより 北海道支部 東九州支部 一九八一年のあゆみ 北海道支部忘年会 一十四回紅葉会報告 「支部懇談会」開催(お知らせ) 西 静岡支部 諒 四四四四四四四五五五三 四四四三〇 四四〇 四四〇 四四三

UIAA(国際山岳連盟) ヤンジュジ教授授死去 訃報・追悼 前会長、

ラインホルト・メスナーをめぐって

片山全平

四 四 日本を初めて訪れて(1・2)

ノエル・E・

四二七、

四二八

文化功労者に

会員だより

今西錦司氏文化勲章を受章、

昭和五十四年度新役員 ヒラリー氏を迎える 植村直己氏に菊池寛賞

今西前会長一千山登頂

井田清さんのこと

名誉会員松本善二氏 終身会員松井久之助氏 名誉会員岩永信雄氏 元副会長渡辺公平氏 富田健 (望月 (望月) (望月 四〇八 .四〇八 四〇一

折井健 田中栄蔵 山崎安治

人 事 往 来

般

記

事

桑原武夫氏

四四

四 四 諏訪多栄蔵四○九

四〇八

名誉会員津田周二氏逝去

前田 浩夫

坂本直行氏逝去

名誉会員・田中薫氏を悼む

佐々保雄

四五〇 四四四四五四

山スキーの怪物―黒田正夫君を偲んで― 吉阪隆正氏を偲ぶ 岳友小池新二氏を悼む 松本信広氏の上高地スキー行 大木さんを憶う 野中和雄君のこと 永年会員 柳沢悟氏を悼む 大木操さんのこと 野口末延 山崎金次郎四三三 麻生武治 辻 荘一 望月達夫 百瀬 孝 小野 幸 山崎安治四三〇 四四〇 四四一 四三八 四三七 四三六 四三五

海外登山情報

0 般

ヒマラヤをめぐって―最近の情況― パミール・カフカス入山案内 氷雪の極点へ―一九七八年、 海外の記録 片山全平

79年後半のヒマラヤ ポーランド隊 厳冬期エヴェレスト登頂 (ポストモンスーン期エベレスト) ヘルリッヒコッフアー氏よりの報告書 片山全平 山崎安治 片山全平 四一八 四四五二五二 四一〇

- 今シーズンの八千m峰(下)山崎安治||今シーズンの八千m峰(上)山崎安治 ネパール登山規則の改正(下)関口周也四二三ネパール登山規則の改正(上)関口周也四二二 日本冬期エベレスト登山隊報告 日本ブータン友好協会の設立 小方全弘四二七 インド山岳財団の住所変更 四四三二二

未踏の東壁―米国エベレスト遠征―一九 海外の山では…… 英国隊のクングール峰初登頂 片山全平四三四 片山全平 植村直己 四二九

宏 四三五 チョモランマ隊より編集宛

山をきれいに

ゴミは持ち帰ろう

海外の山では…… 四姑娘山登頂の報告・同志社大学四姑娘 四三七、四三九~四四四 片山全平 四三六

ヴインソンマツシフ (南極大陸最高峰) 山登山隊 四三六

海外の山では の第二登について 英TRANSGLOBE遠征隊 片山全平·岡沢祐吉 吉田勝 四四四五四

チョゴリ最後の無酸素一一〇〇m 片山全平 四 四八

難渋したマッターホルン第九登 チョゴリの遭難に思う 片山全平 坂下直枝 四四四九九

オーストリアの山岳団体 ドイツ山岳会 -海外の山から―ダウラギリ主峰北西稜 鈴木郭之 脇坂順一 岡沢祐吉 四四九九 四五〇

〇J・A・C・登山隊関係

チョモランマ登山計画について 渡辺兵力

E・一九八○)協議のための訪中報告 日本山岳会チョモランマ登山計画(JQ キシュトワールへ 学生部 竹中 昇 渡辺兵力 四四〇〇 四一

速報 続・チョモランマ計画―偵察隊をめぐっ 8月14日事務所開設 JQE委員会 チョモランマ偵察隊出発・渡辺 四四二二二二

ガルワル登山について 珠穆朗瑪峯登山隊宛郵便物の宛先 珠穆朗瑪峯について キシュトワールから 学生部インド・ヒ マラヤ登山隊 渡辺兵力 (口圧) 渡辺兵力 四四四四六六六三

珠穆朗瑪峯登山隊への郵便物の宛先 チョモランマ登山隊壮行会 (岡沢) 四四 四四 七七 七七

> ガルワル登山について 速報2 チョモランマ登山の成功への経過(要約) 速報 チョモランマ登頂成功 チョモランマ隊より チョモランマ隊より 高本信子 0

ケダルナート通信 冨田由紀子 高本信子 西堀栄三郎四二〇 四二〇

ガルワル隊帰国御挨拶 チョモランマより帰って 本会のチョモランマ峰登頂記念祝賀会 高本信子 渡辺兵力 (岡沢)

チョモランマ登山隊報告と登頂隊員によ 学生部インド・ヒマラヤ登山隊より 塚原道夫 四三三

ボゴタ山群の登山計画について 宮下秀樹 (岡沢) 四二五 四二四

ボゴダ峰遠征隊より チョモランマ登山隊報告書出版記念パーティ 「中国登山委員会」とボゴダ山群登山計 鹿野勝彦 正彦 四三六 四三〇

学生部第一次ボゴダ峰登山と今後の計画 について チョモランマ登山隊公式報告書出版記念 鹿野勝彦 四三八 四三六 四三九



図版 • 写真

カット 松本慎太郎 浴隆三 四○一、四○四~四○八、四一○四四○、四四一、四四三、四四七、四四九、四四三、四四七、四四九 四〇一、四〇二、四〇七、四〇八

四四四四 九九八八 ▼日本山岳会事務取扱時間 月、火、木、 日曜・祭日は休み 土曜

10時~20時

時~20時

▼図書室開設時間

日曜・祭日・月曜を除く毎日

時~20時

吉阪隆正、六、 **芳野満彦** 谷アユ子 坂倉登喜子 山本朋三郎 宮下啓三 四四五、四四七、四四九 四三五、 四三一、四三四、四四三 四一四~四一七、四一九、 四〇三 四三九、四四一~四四三、四四七 四四八 四二二~四二五、 四二五、四二八~四三一、 四一六~四一八、 四二、 四二〇

厳冬期霞沢岳三本槍登攀の写真二葉 当日のヒラリー氏と佐藤テル氏(写真) 大正二、三年北アルプスの写真三葉 挨拶にたつ西堀会長(写真)小倉 厚 記念碑と挨拶する西堀会長(写真) 新選覆刻日本の山岳名著(写真) <山案内人手帳> (写真三葉) 『アルプスの旅』初版本(写真) <山案内人手帳>(写真三葉) 〈山案内人手帳〉(写真四葉)四〇四、 折井健一 四〇六 四〇四 四〇五 四〇三 四〇三 四〇二

雪の結晶写真二葉 総会後の懇親会で挨拶する西堀会長(写真) <山案内人手帳> <山案内人手帳> (写真四葉) (写真二葉) 四〇六、四〇八 樋口・伏見 四〇七 四〇七 四〇六

ウオルター・ウェストンの手紙(写真四葉)

小島鳥水像(昭和3年 ユングフラウヨッホの水晶宮殿(写真)四〇八 **茨木猪之吉画**〕緒方 小倉 厚 四〇八

四〇九

四〇九

投宿者三名の相貌を記した宿帳

/山案内人手帳/

(写真三葉)

山 451-1983・1・20 (第3	三種郵便物認可) 付録	
(学生部・インド・ヒマラヤ) 四二三マラヤ) 四二三マラヤ 四二三 四二三 第18回木春祭写真 四二四 中国登山友好代表団歓迎パーティ写真 中国登山友好代表団歓迎パーティ写真 エ葉 ペラマン マラマンマ北東稜図 と	で乾杯(写真) (写真) (写真) (写真) (岡沢) 四 る近藤信行氏写真 窓近藤信行氏写真 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指定書(滝川清氏撮影) 四十の一人のリッとコッファー氏よりの報告書写真 四一〇キシュトワール地図 カー川又の十郎谷写真二葉 岩崎三郎 四一〇十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十
でウンデ湖畔のコマニマンブロ小屋(写) 四三五 四三元 (写真) 板本正智 四三元 芸峰 (六二五〇m)を目指して南東稜を 四三六 でく (写真) であまり であまる。 高橋庄一 四三六 ボゴダ峰と北東稜ルート写真 四三六 ボゴダ峰と北東稜ルート写真 四三六 にずが峰と北東稜ルート写真 四三六 とり できる (写真) 松家 晋 四三八 名誉会員章を受けた加藤・佐藤両会員 名誉会員章を受けた加藤・佐藤両会員 に	田幸夫氏の誕生日を祝って乾杯(写真) 「おいだり」が、「おいだり」が会で使用した資料の表紙写真で会で使用した資料の表紙写真が会で使用した資料の表紙写真が会後懇親会での佐々新会長と西堀前会会後懇親会での佐々新会長と西堀前会会後懇親会での佐々新会長と西堀前会会を懇親会での佐々新会長と西堀前会会を懇親会での佐々新会長と西堀前会会を	講演会でのオデル氏(写真) 字津 四二五 大正三年の黒部源流での写真 北島光子 四二六 香所・慈照寺の名号石の写真 北島光子 四二六 寺柱寺の名号石の写真 北島光子 四二六 寺柱寺の名号石の写真 北島光子 四二六 寺村八回「この一本展」出品目録 四二七 第十八回「この一本展」出品目録 四二七 第十八回「この一本展」出品目録 四二七 第十八回「この一本展」出品目録 四二七 第十八回「この一本展」出品目録 四二七 第十八回「この一本展」出品目録 四二七 第十八回「この一本展」出品目録 四二七 第十山山頂火口付近写真 小倉 厚 四二七 第十山山頂水口付近写真 小倉 厚 四二九 がワンチン村よりのボゴダ山群遠望写真 早 四二八 がワンチン村よりのボゴダ山群遠望写真 早 四三一 がフンチン対よりのボゴダ山群遠望写真 中原有徳 四三一 がエッターホルンの秩父宮雍仁殿下の 四三二 がエッターホルンの秩父宮雍仁殿下の 四三三 京主山登下山道概念図 「中友好登山隊激励」 四三三 でエッターホルンの秩父宮雍仁殿下の 四三三 第十山登下山道概念図 「中友好登山隊、別別会 の寄書をする宮真 「中友好登山隊、別別会 の寄書をする宮真 「四三二」 がエッターホルンの秩父宮雍仁殿下の 四三三 コアムトン祭 記念講演をする渡辺副会 ウェストン祭 記念講演をする渡辺副会
四二九、四四二、四四五、四四九、四二二、四二五、四二九、四二〇、四二二、四二五、四二九、四三〇、四三七、四三九、四三八、四三〇、四三七、四三九、四四七、四三九、四四九、四三八、四四七四三十四四二、四四二十四三十四三十四三十四三十四三十四三十四三十四三十四三十四三十四三十四三十四三十	金碑写真 豊島洋 四五〇て(写真) 関口周也 四五〇て(写真) 関口周也 四五〇七世誤表および訂正世間の一、四〇三、四〇七世間の一、四〇二、四〇九二、四一六、四二八、四二四二、四一六、四二八	中文・映 会出席者署名 トレーナー写真 トレーナー写真 「四三九 会仏法語取雑録より(写真)穂苅貞雄 四四二九 会仏法語取雑録より(写真)穂苅貞雄 四四二九 会会で挨拶する佐々会長(写真) 「一九七三年八月カナデイアンロッキーにて「大本直行氏写真」 「一九七三年八月カナデイアンロッキーにて「大本直行氏写真」 四四四一九七三年八月カナデイアンロッキーにて「大本直行氏写真」 四四四一九七三年八月カナディアンロッキーにて「大本直行氏写真」 四四六年、大春翁前に立つ霧の旅会メンバー写真 四四六方。
102 発行所 サンビュ 発行所 社社団 発 法人団 科 4.4	は、あらためてど連すが、是非一冊に製ます。	あとがき あとがき あとがき おして作成いたしまして作成いたしまして作成いたしまして作成いたしまして 日記編集を担当して けっ 刷りを でいると、またますが、年月の はいると、またまでいると、またまでいると、またまで がっ 川 ります。 なりますが、年月の目録を を引きずり出して見を がまれてくるのの目録を たん念に作の 目録を たん念に作ります。 なります。 なります。 なりますが、年月の なります。 なりますが、年月の なりますが、年月の なりますが、年月の なりますが、年月の なりますが、年間が生れてします。 なりますが として いっと ないまして いっと ないまして いっと はいる という という はいる はいる という はいる といる という はいる といる といる という はいる といる といる といる といる といる といる といる といる といる と

~四〇七号 大

~四五〇号 森

久

雄

沢 祐

吉

7の流れの早さを感じるととも十冊というと四年と二カ月によした。小倉理事に心から御礼 でいる小倉厚理事をわずらわれて山」第四〇一号から第四五 た面白くなり、読みたい記事しながらこの目録に眼を通し がそれだけ大きくなったとし

ク目録があって初めてその価値、見たい思いにから れて い ま になります。製本について 、その意味からも、この五十 にして、五十冊分を製本する 作られた小倉氏に感謝してお 森久雄、岡沢祐吉両氏と、こ

連絡することになっておりま 製本されることをおすすめ致

一月二十日発行 ~~~~~~

ュウハイツ四番町 千代田区四番町五—四 山

集行 行 表者 日 所 株式会社 技 報 堂東京都港区赤坂一丁目三番六号 振替口座東京三—四八二九番 電話東京(261)四四三三 岡西 堀栄三 沢 祐 吉郎 会

#14 C 15 3 SECTION

.